

心身ともに健やかでたくましい児童を育てる。					
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	担当	具体的方策
教育活動	生徒指導	望ましい生活習慣の形成	日常生活における礼儀・学び合い・健康・協同の精神に関する理解を深められるように努める。	稲富	・毎月の生活目標を全職員で共通理解し、児童に伝え指導する。 ・生徒指導協議会を月1回行い、全職員で共通理解する。 ・毎週の連絡会で生徒指導について全職員で共通理解する。
	健康・体づくり	健康でたくましい体づくり	・年間を通じて全校児童参加の体育的行事に取り組み、児童の基礎体力向上につとめる。 ・地域で行われる体育的な行事に積極的な参加を呼びかける。 ・正しい生活習慣の定着を目指す指導を行う。	野中よ 稲富 古川	・全校での合同体育を7時間実施し、個人の能力にあった技を計画的に習得させる。 ・水泳指導時間を12時間以上設定する。 ・地域で行われる「すもう大会」「マラソン大会」の練習を計画的に実施し、参加率50%をめざす。 ・保健だよりや個別・全体での指導を通して現在の生活習慣が将来の健康な生活につながることを指導していく。
特定課題	小学校低学年の学習環境の改善充実	基本的な生活習慣・学習習慣の育成	・けじめのある学校生活を送らせる。 ・学習のきまりを身につけ、学習方法を身につけさせる。	津留 小川	・本校の低学年指導に関する計画書をもとに、学校におけるけじめある生活態度、学習態度を身につけさせる。 ・学級通信、保護者会等を通して児童の様子を知らせ、理解と協力を仰ぎ、学校と家庭が連携していける関係作りを行う。
特定課題	幼・保・小・中連携	小学校へのスムーズな移行と中学校との学習・生活の連携	・(幼・保・小)間、(小・小)間、(小・中)間の交流の機会を特設する。 ・相互に参観・情報交換会を行い、実態把握や児童理解に努める。	小川 津留 稲富	・本校児童と保育園児との交流を年間3回以上行う。 ・職員同士の交流を、お互いの授業参観等で図る。 ・富士小と富士中と連携し、3校合同で「文化の集い」を行う。また、「学びの週間」を1学期に1回設定する。 ・「平和学習」「合同授業」等、富士小と一緒に活動を行い、中学校へのスムーズな移行をめざす。
個を生きし伸ばす学習指導・学級経営、協働体制の学校運営の推進を図る。					
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	担当	具体的方策
学校運営	学校経営方針	本年度の重点目標の周知	・学校教育目標の周知を保護者80%、児童90%以上にする。	校長 教頭	・学校便りを月2回以上発行し、児童の学習の様子や学校教育目標などをくり返し伝える。 ・学校のホームページを月2回以上更新し、児童の学習の様子や学校教育目標などを発信する。
学校運営	開かれた学校づくり	開かれた学校づくりの推進	・保護者へのお便りを定期的に発行し、HPの掲載等で、来校を促す。 ・各地区回覧板を通してお便りを配布し、学校の取り組みを知らせる。	校長 教頭	・学校便りを月2回以上発行し、児童の学習の様子や学校の取り組みを紹介する。 ・学校のホームページを月2回以上更新し、児童の学習の様子や学校の取り組みを発信する。
学校運営	危機管理	安全・安心な学校づくり	・学校生活における危険について、児童や職員の意識を高める。 ・保護者や地域と連携した危機管理ネットワークを構築する。	校長 教頭 大坪	・火災、不審者、地震対応の避難訓練を通して、学校生活における危険について、児童・職員の意識を高める。 ・育友会や地域の学校評議員などと情報交換をして、自然災害等への対応のメール配信を速やかにし、児童の安全確保に努める。
特定課題	特別支援教育	見守りたい子への支援強化	・保護者の理解を得ながら、児童一人ひとりの教育的ニーズに応じた目標を個別の指導計画に取り上げ、その目標を達成する。	大坪	・職員の研修を年8回実施し、特別支援に対する職員研修の充実を図る。更に、スクールカウンセラーや巡回相談員等、専門家の意見を取り入れていく。

は共通評価項目、 は独自評価項目